

## スソウミヘビが採れました！

羽田浅場のアナゴ筈調査でスソウミヘビが獲れました。

平成 24 年 1 月 10 日のアナゴ筈調査(港漁業協同組合 小杉鶴吉氏)に 61 尾のマアナゴに混じって、やや赤みかかったウミヘビ(魚類)が 1 尾獲れました。

調べたところスソウミヘビ(*Ophichthus urolophus*)と判明しました。大きさは全長: 50.6cm、体重: 155 g と普通のマアナゴとほぼ同じ大きさですが、体色がやや赤味かかっていること、眼が大きいこと、尾鰭がなく尾部はこん棒状であること等でマアナゴと区別できます。

“ウミヘビ”と名前に付く動物には、鱗のあるものとなないものに分けられ、前者は爬虫類の蛇の仲間、後者はウナギ目に分類される魚類で、本種はウナギ目です。

生息分布は駿河湾～長崎県、九州～パラオ海嶺、インド・太平洋域。水深 200m 前後の水域で採捕され、食性は動物食性、腐肉食性でもあるとも考えられています。

昭和 60 年から行っている当協会の調査では初めての採捕となります。



スソウミヘビ



マアナゴの中のスソウミヘビ



スソウミヘビの頭部



スソウミヘビの尾部